シチズンシップ共育企画 **2013 年度事業概要報告**



〒661-0965 兵庫県尼崎市次屋 1-2-20 ハイツアメニティ 2-203
Tel 070-6506-0369 E-mail info@active-citizen.jp URL http://active-citizen.jp/

シチズンシップ共育企画 ミッション

「じぶん」になる、「しみん」になる。

アクティブな市民になれるために。民主的な対話を実感/実現するために。 市民的リテラシーを獲得した民主主義の担い手が育つ社会の実現のために。

.....

シチズンシップ共育企画は、「市民としての意識と行動力」が向上するための学びの場をつくる NPO です。特に、市民が社会参画していく技能の内、「コミュニケーション力」「協議力(合意形成力)」「マネジメント力」「社会問題発見力」の4つの市民力と、社会参画を支援する力(教育ファシリテーション力)を中心テーマに据えて、講座・ワークショップを実施しています。

任意団体であるシチズンシップ共育企画は、代表者である川中大輔の個人事業として、昨年末に 2013年度の会計年度末を迎えました。ここに概要をご報告いたします。

1. 13年度事業報告のハイライト

- (1) ユース ACT プログラム、当会主催事業となり、3 コース展開へ。
- (2) 日本シティズンシップ教育フォーラム(J-CEF)が正式発足!
- (3) セルフカルチャープログラム、生と死の共育 WS は「宗教の社会的役割」がテーマ。
- (4) 教育ファシリテーター講座、「技」「人」「状況」をセットで学ぶ貴重な場に!
- (5) 骨太教員養成プロジェクト、ERC 二事業は発展的解消へ。
- (6) 神戸市協働と参画のプラットホーム、新たな協働推進策を中間支援 NPO と協働で検討。
- (7) NPO マネジメント支援、担当講座件数は 72 件。
- (8) 設立 10 周年記念催事、盛況の内に開催!
- (9) 財務は事業収入が減少するも、管理費縮減によって、内部留保に膨らみ。

2. 13 年度事業実施体制

当会では規約に基づき、総会の下に日常的な意思決定機関として運営委員会を設置し、年 2~3 回程度の定例会議と、年 1~2 回のリトリートの合宿会議を毎年開催しています。運営委員会ではフェローと共に、組織全体のビジョンや各種方針を立て、事業計画案/事業報告案の策定する他、各種事業の進捗状況共有、新規企画の実施承認等を行っています。2013年度は年間を通じて1回の定例会議と2回のリトリート合宿会議を開催し、適宜メール回議にて意思決定を行いました。

執行体制としては、代表と 1 名の専従職員が各種事業の責任者となり、プロジェクトごとにボラン ティアスタッフを募ってチームを編成し、事業推進に取り組んでいます。

〈メンバー一覧〉

·運営委員会 川中大輔(代表)、大本晋也、小林健司、東末真紀、三浦一郎 神野有希、古田雄一 ・フェロー 湯浅雄偉、井出大地、城木信浩

· 監事 長尾文雄

・専従職員 鈴木陵(事務局次長)

・インターン 松井康次 (3月まで)

・スタッフ 長坂華奈絵、村尾航平(以上2名、3月まで)、井上栞、瀧本愼也、岩本清楓、

野田憲太郎、深谷啓介、元原悠貴、安岡潤也

3. 12 年度各事業報告

■市民教育事業

| (1)ユース ACT プログラム| (担当:鈴木、井上、岩本、瀧本、野田、深谷、元原、安岡、井出、 城木、川中)

若者が「まちの跡取り」としての自覚や自信を形成するためには、自らが「まち」をつくる側にまわる経験をしつつ、「まち」の多様な人びととの交わりを得て支えられる中で、「まち」への愛着と信頼を育んでいくプロセスが求められると考え、2008年度から京都地域において、高校生がまちづくり企画の立案・実施・評価に一貫して取り組む市民教育プログラムとして、「ユース ACT (Active Citizenship Training)プログラム」を実施しています。

本事業の実施にあたっては、京都地域でユースワークや市民活動支援等に取り組む機関や有識者によって実行委員会を形成し、様々な地域資源と高校生を仲介できる体制を整えました。当会は実行委員会の事務局を担い、本事業の具体化に向けた諸活動に取組みました。

今年度は、大学生サポーターが候補となる社会課題を設定し、その選択をすることからチームが編成されました。また、企画立案合宿前にフィールドワークを取り入れるなど、調査に基づく実践に力点を置きました。過年度からの継続として企画をより洗練させるための機会としての実行委員とのディスカッションを行う「スクーリング」も開催しています。2 チームに分かれた高校生は、以下の活動に取り組みました。

- ・2/13 「いじめ」チーム 高校生対象インタビューの実施
- ・2/25 「いじめ」チーム 高校生同士の「本音トーク」の実施(参加者:8名)
- ・2/20 「防災」チーム 自主防災会の方を交えた「まちあるき」の実施
- ・4/22 「防災」チーム 自主防災会の方へのインタビューの実施

また、ユース ACT プログラム活動報告会を 3 月 1 日に実施、参加者 12 名を得ました。

2013 年 4 月以降はこれまでの運営体制を見直して実行委員会を解散し、シチズンシップ共育企画が事業継承しています。今年度は、(公財)京都市ユースサービス協会との共催のもと、これまでと同様に高校生が社会問題解決に取り組む「企画コース」に加えて、京阪地区の NPO に長期間に渡ってインターンシップする「インターンコース」、自ら関心のある社会問題について、探究活動に取り組む「探究コース」を設け、京都地域の複数の高校から 10 名が参加し、大学生サポーターと共に活動を開始しました。

なお、今年度は参加高校生の募集にあたり、以下のプレ・プログラムを企画実施しました。

・10/06「このへん!トラベラー~未知の京都発見プロジェクト~」(参加者:6名)

実施協力: NPO 法人エクスクラメーション・スタイル

NPO 法人京都コミュニティ放送/京都三条ラジオカフェ

NPO 法人地域環境デザイン研究所 ecotone

NPO 法人テラ・ルネッサンス

NPO 法人山科醍醐こどものひろば

さいりん館

Happy Beauty Project

現在、「企画コース」においては、家族や友人に相談できないことを話せる新たな理解者をつくるための企画に高校生がチャレンジし、企画実施準備を進めています。「インターンコース」では以下 3 団体に協力をいただき、現場での活動に参加しています。

・受入先: NPO 法人テラ・ルネッサンス

NPO 法人山科醍醐こどものひろば

「ミンナ DE カオウヤ」プロジェクト

「探究コース」では、関心のあるキーワードの洗い出し、リサーチクエスチョンの設計、アンケート調査の実施などの活動を進めています。

*本事業は、京都市・京都市教育委員会からご後援をいただいており、また、京都府・京都府教育委員会・(公財)大学コンソーシアム京都 (いずれも 2013 年 3 月まで) からご後援いただきました。

また、ユース ACT プログラムでの実践を踏まえつつ、主に中学校での実践を目指したシティズンシップ教育のモデルプログラムを開発し、そのスケールアウトを検討すべく、以下の方々のご協力を得て、定期的に研究会を開催しています。

- ・角野綾子(NPO 法人 JAE)
- ・高向伴博((社福)大阪ボランティア協会、大阪市立大学大学院)
- ・村井繁光 ((公財)京都市ユースサービス協会)

│(2)日本シティズンシップ教育フォーラム創設事業│(担当:川中、古田、神野、湯浅、鈴木)

シティズンシップ教育の関係者が立場を越えてネットワーキングし、ナレッジの共有やグッドプラクティスの掘り起こし、一層の進展に向けたムーブメントの形成を図るため、一昨年度より設立準備を進めてきた「日本シティズンシップ教育フォーラム(J-CEF)」が3月に正式に発足いたしました。当会はJ-CEFの総会・運営委員会での決定に基づき、その執行を支える事務局を担当しています。

>URL : http://jcef.jp/

│(3)セルフカルチャープログラム│(担当:川中、鈴木)

当会では C.I.「『じぶん』になる、『しみん』になる。」からも明らかな通り、市民教育プログラムにおいて、市民公益活動の担い手としての成長を支援するだけではなく、同時に、一人ひとりが現代社

会において自分らしく生きていけるような自己形成等の成長支援も必要だと考えています。そうした、 自己の修養と尊重がなされなければ、滅私奉公的な市民教育に陥りかねません。

そこで具体的には、当会では以下の4つの視点からワークショップを開発し、実施しています。

- ①自分に気づく(自分の気持ちや生きかたへの気づき)
- ②自分を表す(気持ちと考えの表現)
- ③自分を鍛える(世界観と学び続ける力の鍛錬)
- ④他者とともに生きる自分を育む(つながりへの気づきと共生の技法の修練)

今年度は、以下の1本のワークショップを実施しました。

・1/26-27 生と死の共育ワークショップ「何のために宗教はあるのか?」

(共催:大蓮寺・應典院、青木将幸ファシリテーター事務所)(参加者:5名)

ゲスト:平田義さん、秋田光彦さん、ファシリテーター:青木将幸さん、川中大輔

なお、継続的に実施している「生と死の共育ワークショップ」については、各人の「市民としての行動」に軸をもたらす上で、自らの人生の意味や目的を見いだす精神的な成長(spiritual grow)が必要不可欠であると考え、重視しています。特に昨今の教育現場では、「いかに働くか」を主題とするキャリア教育が盛んであり、「いかに生きるか」を主題とする教育機会が決して十分ではないとの認識から、2008年度以降は重点事業と位置づけています。

13年度も、「対話・仕事・生死」から自己と向き合い、見つめ直すという今年度方針を踏襲し、継続実施していきます。

▷実施報告:http://active-citizen.jp/zisseki/

(4)講師派遣(担当:川中)

大学等の高等教育機関において、シティズンシップ教育の視点を踏まえた授業を展開するため、以 下の大学等において非常勤講師として講義科目を担当しました。

〈春学期〉

- ・甲南大学「ボランティア論」
- ・大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科「非営利ビジネス論」

〈秋学期〉

- ・同志社大学大学院総合政策科学研究科「コミュニティ・デザイン論研究」(共担)
- ・大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科「ボランティア活動論」
- ・大阪樟蔭女子大学学芸学部「教育社会学」(2コマ)
- *上記の他、川中は立命館大学の任期付専任教員(2012年4月~2014年3月)として、サービスラーニング科目8科目(2012年度)、6科目(2013年度)を担当し、また同大学サービスラーニングセンターはじめ各種教育取組の推進にもあたっております。

また以下の各自治体や学校機関等が行っている、子ども・若者の社会参画推進やシティズンシップ教育の取組にも企画運営や講師派遣で協力しています。

- ●尼崎市教育委員会「社会力育成モデル事業」
 - ・8/8,8/26 「研究指定校教員研修会」、「参画と協働のクラスづくり」講師
 - ・8/22-23 「生徒会宿泊研修」、「自らの手で学校を良くしよう!」講師
- ●奈良市「未来をひらく子どもワークショップ」のファシリテーション等業務受託
 - ・7/28 「サポーター養成講座」
 - ・8/1 第1回「仲間と出会う、奈良を見つめる」
 - ・8/5 第2回「私たちの声を届けよう(1)」
 - ・8/7 第3回「私たちの声を届けよう(2)」
 - ・8/19 第4回「私たちの声を聴いてもらおう」
 - ・8/21 第5回「未来をひらく私たちの提案」
- ●京都市「青少年モニター制度」ワークショッププログラム提供担当(ユースビジョン受託事業)
 - ・3/18 「青少年の声はどう届いた?」(H24年度報告会)
 - ・10/17 「中学生がもっと本を読むためには?~「読書離れ」を防ぎたい」
 - ・12/1 「ペットを飼う前に考えること~捨て猫、捨て犬を減らしたい!」
 - ・2014/2/1 「子育てパパ・ママの不安や悩みを解消するためには?~子育て支援のアイデア 募集」
 - ・2014/3/17 「青少年からの提案×京都市のこたえ~『若者の声』を市政にどう活かすか?」 (H25 年度報告会)

●学校機関

- ・4/20 立命館宇治高校「キャリア・サービスラーニング」、「ボランティアとは?」講師
- ・6/18 立命館宇治高校「教員勉強会」、「フィールドワークの基礎知識」講師
- ・7/9 立命館宇治高校「現代社会」、「商店街イメージアップ大作戦事前研修会」講師
- ・8/27 神戸市立魚崎中学校「リーダー研修」、「みんなが元気になる会議のつくり方」講師

■ファシリテーター養成事業

(1)教育ファシリテーター講座(担当:川中、大本、東末、小林、鈴木)

学校教育や社会教育において、参加型学習の導入が一般化し、広がっていっています。各種講座や専門書籍の充実など、ファシリテーションの技法を学ぶ機会も飛躍的に増大し、この動きを支えています。当会でも 2006 年度より 「教育ファシリテーター講座」を実施し、適切なファシリテーションの技法を習得できる機会を提供しています。

ファシリテーションについて学ぶことのできる資源は増えているものの、状況に応じて手法を使い分ける力や、テクニックを支える「関わり」について学ぶ機会は不足していると言えます。そこで、「人」「技」「状況」を同時に学ぶことのできる環境設定が必要だと考え、今年度は以下の内容での実施としました。

・8/10-12「教育ファシリテーター講座2013 : 西村仁志さんと西村佳哲さんの「学びの場のデザイン」を堪能する!」(ゲスト: 西村仁志さん、西村佳哲さん、スタッフ: 大本晋也、東末真紀、川中大輔、鈴木陵)(参加者: 21名)

参加型学習の場において、学び手は「参加型の文化」を体得することになり、また、自分の頭で考え、活動と学習を統合していく力を習得することになります。そうした参加型学習の展開と定着、深化を期待し、そのために何が求められているのかを検討した上で、14年度も継続実施していきます。

▷実施報告:http://active-citizen.jp/report_20130810/

(2)学びのデザイン研究会 (担当:川中)

関西地域のファシリテーターのネットワーキング化と、形式知化される前の現場レベルでの実践知を共有する場として、当会では 2006 年度よりケースカンファレンス形式の「学びのデザイン研究会」を不定期で開催してきました。今年度は昨年度に引き続き、ワークショップの理論と歴史を学ぶ連続シリーズに取り組み、5 回の研究会を開催いたしました。14 年度は、研究会としての開催は一度休止し、その成果を教育ファシリテーター講座で活用する方策を検討します。

●2013年度テーマ「ファシリテーションの理論と歴史」

- ・2/5 第 44 回「T グループの理論を学ぶ(7)」
- ・4/18 第 45 回「T グループの理論を学ぶ(8)」
- ・5/28 第 46 回「T グループの理論を学ぶ(9)」
- ・7/28 第 47 回「体験をプログラム化することの課題」
- ・12/12 第 48 回「ファシリテーションの現在」

*主要文献:L.P.ブラッドフォード、J.R.ギッブ、K.D.ベネ(三隅二不二監訳)『感受性訓練〜T グループの理論と方法〜』(日本生産性本部、1971年)

▷開催記録: http://active-citizen.jp/planning/study.html

なお、大学研究者が取り組んでいるファシリテーターのプロファイリングづくりにあたって、その 対象候補選定やインタビューの実施及び記録作成等の業務を請け負っています。この研究成果につい ても当会としては教育ファシリテーター講座等で社会還元していけるよう、検討していきます。

│(3)骨太教員養成プロジェクト│(担当:鈴木)

学校教育現場では、若手教員であっても、着任してすぐに現場の第一線でベテラン教員と同様に活躍することが求められるものの、ますます多様化傾向が進んでいる職能の形成に、既存の教職課程や教員志望学生の取組みは、必ずしも充分に応えきれていません。

こうした教員養成上の課題を踏まえ、当会では 2009 年度から外部委員と共に<u>「骨太教員養成プロジェクト」</u>を設けました。今年度は、過年度にモデルプログラムの開発と試行実践が終了したことから、今後の方向性について検討しました。その結果、これまでの本プロジェクトの蓄積を教員研修や教職課程の授業、教育行政に係る審議会等で活かしていくこととし、本プロジェクトは発展的に解消

いたしました。

[プログラム開発委員(五十音順・敬称略)]

- ・枝広和憲(広島大学大学院教育学研究科博士課程後期課程)
- ・川中大輔(シチズンシップ共育企画代表)
- · 富本水子(神戸市立長田小学校教諭)
- ・羽野ゆつ子 (大阪成蹊大学芸術学部准教授)
- ·深水正和(兵庫県立明石城西高等学校教諭)
- ・水野篤夫((財)京都市ユースサービス協会事業部長)
- ·山下順子(兵庫県立星陵高等学校教諭)
- ・山本智也(京都ノートルダム女子大学生活福祉文化学部教授)

■協働推進事業

(1)ERC (教育リソースセンター) (担当:鈴木)

NPO 等の地域の教育資源と学校との「教育協働」を促進するため、2009 年度より外部委員と共に 「ERC (教育リソースセンター)」を設置し、教育協働の実態把握及び成功要因分析に取り組んでいます。今年度は、過年度に取り組んだ NPO と学校現場の教育協働実践に関するヒアリング結果をまとめたリーフレット「教育協働のススメ」を制作し、主に兵庫下の高等学校に配布しました。今後はこれまでの知見を踏まえて、シティズンシップ教育の展開において教育協働の実践を進めていくことととし、これを受けて本プロジェクトは発展的に解消いたしました。

[委員会委員(五十音順・敬称略)]

大滝あや(環境教育事務所 Tao 舎代表)

大前吉史(兵庫県立兵庫高等学校教諭)

大本晋也 (兵庫県教育委員会事務局社会教育係長)

荻田藍子((社福)兵庫県社会福祉協議会)

川島憲志 (フリーランス)

川中大輔(シチズンシップ共育企画代表)

東末真紀 ((特)神戸まちづくり研究所)

松井寬泰 ((社福)兵庫県社会福祉協議会)

(2)神戸市協働と参画のプラットホーム受託事業(担当:川中)

2007年度から引き続き、神戸市市民参画推進局から<u>「協働と参画のプラットホーム」</u>における「協働コーディネート業務(区分B)」を受託し、市民参画のまちづくりの推進に取り組みました。

具体的には、NPOと神戸市の協働コーディネート業務、パートナーシップ活動助成の設計支援、協

働と参画のプラットホームの各種取組に関する共同検討等に加え、特に<u>「中間支援 NPO と行政の意見交換会」</u>において、市内中間支援 NPO と共に神戸市における協働と参画の現況を踏まえた新規施策の提案検討に取り組みました。

また、「神戸市ソーシャルビジネス推進委員会」(新設)では、「神戸ソーシャルビジネス円卓会議」にて企画検討されたソーシャルビジネス推進施策についてフォローアップし、その評価改善を進めました。市民活動団体への寄付推進施策についての検討する<u>「市民ファンドと行政の意見交換会」</u>についても継続的にその実行にあたりました。今後もこうした円卓会議形式による「深い参画」を一層推進していきます。

協働と参画のプラットホームの協働コーディネート業務については、14年度も継続的に受託できるように努め、協働推進施策の効果を向上させる施策間連携の実現に取り組んでいくことを目指し、市民参画のまちづくりの進展に貢献します。

>URL: http://kobe24.jp/

■NPO 支援事業

|(1)講師派遣プログラム|(担当:川中)

「市民としての行動力」が社会において具体的に発揮されるためには、思いをカタチにしていくマネジメントスキルが必要不可欠となります。そこで、当会代表の川中は当会設立以前の 2001 年より NPO マネジメント講座の講師依頼を積極的に引き受け、当会が設立された 2003 年度以降、全国各地で講座を担当しています。

今年度は、一年間で 76 件の講座へ講師派遣を行いました。下表はご依頼いただいた仕事をテーマ 別で分類したものです。

テーマ	件数 (12←11←10←09←08年度)	テーマ	件数 (1211100908 年度)
マネジメント全般	6 (9←7←7←4←3)	会議、ファシリテーション	17 (17←10←9←17←10)
企画	2 (4-3-7-9-9)	広報、プレゼンテーション	3 (3←0←4←0←4)
ボランティアマネジメント	2 (7-4-1-3-4)	リーダーシップ・人材育成	4 (5←4←5←9←5)
評価・ふりかえり	6 (4-5-3-2-3)	ビジョン、理事会運営	5 (3←0←3←2←6)
中間支援	1 (0←1←1←1←2)	協働	7 (8←11←20←10←15)
ソーシャルビジネス、資金調達	2 (3←7)	まちづくり	7 (12←5←7←5←2)
市民教育、ユースワーク	4 (5←12←3←4)	コミュニケーションスキル	6 (6←12)
政策提言	0 (0-0-4-4)	キャリアデザイン	2 (4←7←6←3←2)
		その他	4 (5-4-4-4-3)

全体的に件数が減じている中、今年度も当会に依頼の多い「会議、ファシリテーション」については、前年度実績を維持しました。当会の専門性からして、このテーマの専門性を引き続き磨いていくことが求められると考えています。この一年では、会議ファシリテーションに加えて、学生を対象とする教育ファシリテーションに関する依頼が増えています。アクティブラーニングへの必要性が高ま

る中、ピアサポートを促す力量形成がニーズとしてあることが確認できます。

また、近年は集中講座で単発的に支援するだけではなく、外部委員等含め役員となって、ハンズオンで継続的に関与する案件も増える傾向がえています。マネジメントに係る一般的な知識が書籍等で広がり、その応用実践にニーズが移行していっているのではないかと考えられます。

14 年度も、従来からの講座プログラムの充実化に加え、近年の増加ニーズに適切に応えられるよう、プログラムの開発を図り、依頼件数の増加を目指します。

◉川中担当分

- ・1/10 京都子どもセンター「エクスターンシップ中間報告会」コメンテーター
- ・1/11 尼崎市役所主催「明日へつなぐチャレンジ塾」、第3回目「市民活動を活発にする環境づくりを考える」ファシリテーター
- ・1/19 イエス団「職員ブラッシュアップ研修会フォローアップセッション」講師
- ・1/25 北播磨市民活動支援センター主催「NPO・ボランティアのための入門&専門講座」、一回目「人が集まる組織づくり」講師
- ・2/4 北播磨市民活動支援センター主催「NPO・ボランティアのための入門&専門講座」、二回 目「インナーコミュニケーション術」講師
- ・2/8 神戸市役所・神戸ソーシャルビジネス円卓会議主催「ソーシャルビジネスセミナー」、「須 磨海浜水族園のスタッフに学ぶ!広報セミナー」ファシリテーター
- ・2/10 天隣乳児保育園「職員全体研修」、「2012年度を振り返り、2013年度の目標をつくる」 講師
- ・2/11 教職サークル GETS・トボス「振り返り合宿」、「私に必要な学びのフィールドを探す」 ファシリテーター
- ・2/16-17 秋田市市民交流ボランティア主催「NPO スキルアップ講座」、「活動のビジョンを 固めてブレない活動を!」講師
- ・2/19-20 同志社大学「リーダーズキャンプ」講師
- ・2/21-22 「明礬リトリート」を考えるワークショップ
- ・2/24 大原桂木ふれあいのまちづくり協議会「要援護者避難訓練の振り返りを通じて防災まちづくりについて考えるワークショップ」ファシリテーター
- ・2/26 貝塚市職員研修「新しい公共経営における行政職員の役割」講師
- ・2/26 貝塚市役所主催「市民公益活動研修会」、「貝塚の底力で団体運営のお悩みを解決する!」 講師
- ・3/1 兵庫県神戸生活創造センター生涯涯学習情報プラザ主催「生涯学習支援機関フォーラム ~ 私も学びのファシリテーターになる!!!」講師
- ・3/3 イエス団「リーダーシップ養成研修会フォローアップセッション」講師
- ・3/13 海南市役所主催「みんなで考えよう!健康と生活習慣〜海南らしい健康づくり〜」ファシリテーター

- ・3/15 北九州市役所主催「ファシリテーション研修会」、「参加者したみんなが喜ぶ会議の進め方」講師
- ・3/16、GGP ジェンダー・地球市民企画主催「対話ってなんだろう?」ファシリテーター
- ・3/19 海南市「保健師研修~双方向の学びと創造の場はどうつくるか?」講師
- ・3/23 東はりま NPO ネットワーク主催「これからのネットワークのあり方を考える」ファシ リテーター
- ・3/25-26 イエス団「新任職員研修会」講師
- ・3/28-29 愛隣館「職員全体研修会」、「2012 年度を振り返り、2013 年度の目標をつくる」 講師
- ・3/30 豊岡市社会福祉協議会主催「NPO パワーアップ講座」講師
- ・4/4-5 石巻復興支援ネットワーク「全職員面談」ファシリテーター
- ・5/16 生涯学習サポート兵庫「生サポのブランディングを考えるワークショップ」ファシリテーター
- ・5/24 豊島の福祉を考える協議会「全体会」ファシリテーター
- ・5/25 CAP センター・JAPAN「語ろう!見つけよう!社会を変える CAP 活動のカタチ」ファ シリテーター
- ・5/28 神戸国際大学「市民参加論」、「若者の社会参加の回路」講師
- ・6/1 神戸地域包括支援センター会「機能する地域ケア会議に向けて」講師
- ・6/3,11 愛隣館「職員研修」、「傾聴とフィードバックに関する勉強会」講師
- ・6/13 神戸市役所「まちづくり関係職員研修(ベーシックプログラム)」、「地域の人との信頼 関係のつくりかた」講師
- ・6/14-15 イエス団「職員ブラッシュアップ研修」講師
- ・6/20 尼崎市大庄地区生徒指導連絡協議会「平成 25 年度総会」、「若者の社会力の回復と活性 化に向けて」講師
- ・7/4-5 いなかパイプ「職員研修」、「気づきを促すコミュニケーション」講師
- ・7/6 西宮市市民交流センター主催「市民活動・NPO支援講座」、「会議の進め方」講師
- ・7/7 「きき方で世界は変わるか?」、第三回「きき合える関係をつくる」ファシリテーター
- ・7/11-12 いなかパイプ・シチズンシップ共育企画共催「ファシリの湯 vol.1~企画の『温泉 タマゴ』をいっしょにつくりませんか?~」ファシリテーター
- ・7/15 石巻復興支援ネットワーク主催「高校生のためのファシリテーション研修会」講師
- ・7/20 西宮市市民交流センター主催「市民活動・NPO 支援講座」、「ファシリテーショングラフィックを学ぼう!」講師
- ・7/27 尼崎市役所主催「チャレンジ市民塾」、第2回目「ファシリテーションって何?」講師
- ・7/30 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構「ローカル・ガバナンス研究会」、報告発表「リードする中間支援へ」

- ・8/6 生涯学習サポート兵庫・シミンシーズ・シチズンシップ共育企画共催「合同ファシリテーション研修」講師
- ・8/8 兵庫大学「平成 25 年度大学と地域の連携推進協議会」ファシリテーター
- ・8/29-31 イエス団「リーダーシップ養成研修会」講師
- ・9/1 ひょうご NPO ユース主催「NPO 等インターンシッププログラム」、「ふりかえり研修」 ファシリテーター
- ・9/2 豊島の福祉を考える協議会「全体会」ファシリテーター
- ・9/3-7 龍谷大学・京エコロジーセンター主催「京都発 エコ・デザイン学(集中講義)」ファシリテーター
- ・9/10 神戸市役所「まちづくり関係職員研修」、「ケーススタディプログラム」講師
- ・9/22-23 NPO 法人 edge 主催「ビジネスプランコンペ edge2014」、「集合研修」メンター
- ・9/25 尼崎市立会館神崎総合センター主催「人権啓発学習会『児童虐待を地域で考える』」講師
- ・10/19 沖縄地域社会ビジョン大学院運営協議会主催「沖縄地域社会ビジョン大学院 2013」、 「市民性教育論」講師
- ・10/20 まちなか研究所わくわく主催「『参加』で社会を変えるファシリテーション講座 2013」、「ワークショップを『組み立てる』~参加の場のプログラムデザイン~」講師
- ・10/21, 25 BAN-BAN ネットワークス「職員全体研修」、「地域とのつながりの『これまで』 と『これから』」ファシリテーター
- ・10/26 京都文教大学「SAファシリテーション研修会」講師
- ・10/24,31 東淀川区社会福祉協議会・東淀川区まちづくりセンター支部主催「地域活動協議会基礎体力アップ講座」、「必ず役に立つ仕分け人~事業見直しのヒント講座~」講師
- ・11/7, 14 BAN-BAN ネットワークス「職員全体研修」、「改革プロジェクトへのキックオフ」 ファシリテーター
- ・11/8 関西福祉大学「第1回企業就職支援セミナー」、「なぜ社会福祉の大学から、一般企業に進むのか、みんなで考えよう」講師
- ・11/8 淀川区社会福祉協議会・淀川区まちづくりセンター支部主催「まちづくりのフレームワーク」講師
- ・11/11,29 西宮市役所「参画と協働に係る職員研修」講師
- ・11/24 「沖縄リサイクル運動市民の会 30 周年!!~古我知さんを肴に集う会」ファシリテーター
- ・11/28 兵庫県立嬉野台生涯教育センター・兵庫県生きがい創造協会主催「平成 25 年度社会 教育関係職員専門研修」、「評価力向上セミナー」講師
- ・11/30 イエス団「リーダーシップ養成研修会フォローアップセッション」講師
- ・12/2 大阪市役所・大阪 NPO センター主催「地域公共人材養成プログラム」、「ファシリテーション講座」講師

- ・12/5 佐倉市市民公益活動サポートセンター主催「ボランティアマネジメント講座〜魅力的な活動を継続していくには!〜」講師
- ・12/6 リディラバ主催「R-SIC〜"社会起業"の最先端を知る〜」、session 1「地域課題の解決 に向けた官民交えての地域イノベーション」パネリスト
- ・12/7 中央大学ボランティアステーション主催「代替わりのためのワークショップ」講師
- ・12/8 北九州市役所主「ファシリテーション研修会」、「参加者したみんなが喜ぶ会議の進め方」 講師
- ・12/9 ひょうごコミュニティ財団主催「寄付集め『はじめの一歩』講座」、実践講座「はじめよう!寄付あつめ」ファシリテーター
- ・12/12 BAN-BAN ネットワークス「職員研修」、「これからの BAN-BAN を考える(1)」ファ シリテーター
- ・12/13 伊賀市役所主催「クローバーカレッジ(女性リーダー養成講座)」、第6回「私たちの伊賀市」講師
- ・12/21 追手門学院大学「学生ファシリテーター(仮称)研修会」、第2回「グループワークのファシリテーションを学ぶ」講師
- ・12/23 コープともしびボランティア振興財団「次年度目標を立案する会議」ファシリテーター
- ▷実施報告: http://active-citizen.jp/zisseki/

●鈴木担当分

- ・8/7 京都市職員研修「対話と議論で〈つなぎ・ひきだす〉ファシリテート能力研修」グルー プファシリテーター
- ・8/8 兵庫大学「学生と地域との対話から連携を考えるワークショップ」グループファシリテーター
- ・9/10 守山市職員研修「ファシリテーター養成プログラム」グループファシリテーター
- ・10/9 日本厚生保護女性会「日本厚生保護女性会員中央研修」グループファシリテーター

(3)外部委員(担当:川中)

NPO の支援活動として、研修・講座のみならず、以下の機関の外部委員として助言指導や政策形成参画等を行いました。

- ・NPO 法人まちなか研究所わくわく理事
- ・NPO 法人 BrainHumanity フェロー
- ・NPO 法人 CAP センター・JAPAN ネクストステージ委員会委員
- ・NPO 法人 CAP センター・JAPAN トレーナーの選考と評価委員会委員
- ·(一財)大阪府男女共同参画推進財団理事
- ・(公財)京都市ユースサービス協会企画委員会委員
- ・(公財)ひょうごコミュニティ財団理事

- ・(公財)コープともしびボランティア振興財団運営委員会委員(第10期助成検討委員兼務)
- ・尼崎市事務事業点検委員会委員
- · 京都市青少年活動推進協議会専門委員会委員
- ・京都市未来まちづくり 100 人委員会アドバイザー
- ・吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会委員
- ・兵庫県立兵庫高等学校社会参画推進委員会委員
- ・龍谷大学地域公共人材・政策開発システムリサーチセンター研究員
- ・ゆるやかにつながって息長く被災地の女性をサポートする会呼びかけ人
- ・「第2回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」企画運営委員
- ・尼崎東高等学校跡地活用市民検討会座長(~13年4月)
- ・川西市青少年問題協議会専門委員(~13年3月)
- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構国立淡路青少年交流の家運営協議会委員(~13年3月)
- ・認定 NPO 法人市民活動センター神戸「共感寄付」助成団体選考委員(~13年3月)

〈鈴木〉

- ・スマイルひろば企画運営委員
- ・(特)スマイルひろば理事
- ・ひょうご NPO ユース世話人

(5)原稿執筆(担当:川中)

シティズンシップ教育や NPO マネジメントに関する原稿を情報誌等で執筆しています。今年度に 発行されたものは以下の通りです。

- ・川中大輔 2013 「市民としての意識と行動力を育む学びの場をつくる(第 29 回 生涯学習 を仕事にする)」、『月刊 生涯学習』2013年4月号、国政情報センター、pp.12-13
- ・川中大輔 2013 「「市民の歴史」を編む」、『J-CEF NEWS』No.1、日本シティズンシップ 教育フォーラム、p.2
- ・川中大輔 2012 「覚悟を決めるために、企画書をつくる!」、いなかパイプ編『いなかビジネス教えちゃる!カツオ指南本~いなか起業家を応援!コミュニティビジネスの教科書~』企画・ど久礼もん企業組合、四万十また旅プロジェクト、四万十ドラマ、pp.6-9

■設立 10 周年記念事業

2003年に設立され、今年度に10周年を迎えたことから、これまでの歩みを支えてくださった方々に感謝し、これからの展望を分かち持つことを目的に以下の通り、記念催事を実施いたしました。

また、記念品を数種類制作し、ご来場の方々や当会関係者等にお配りいたしました。

- ・6/8 設立 10 周年記念ワークショップ&パーティー (参加者:68 名)
 - ●第1部 ワークショップ

祝辞 中村陽一さん(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授)

記念講演 高田研さん(都留文科大学教授)

参加型パネルディスカッション

〈パネリスト〉西村仁志さん(環境共育事務所カラーズ代表、広島修道大学准教授)

山崎清治さん(NPO法人生涯学習サポート兵庫理事長)

湯浅雄偉さん(北海道大学大学院教育学院)

川中大輔 (当会代表)

〈ファシリテーター〉青木将幸さん(青木将幸ファシリテーター事務所)

●第2部 パーティー(於:太陽酒造)

*写真撮影協力:久米凛太郎さん *記念品協力:NPO 法人サリュ

4. 13 年度決算のトピックス

■収入の部

(1)講師派遣料収入は大幅減少

当会の事業収入を支える講師派遣料については、前年比約 87 万円減となっており、ここ数年は増減の変動を繰り返しています。今年度は NPO 支援での依頼の減少が響いており、今後当会の専門性をより明確にした上で、社会発信に力を入れ、新規顧客を獲得する必要性があります。また、行政や学校機関等の厳しい財政状況の下では厳しいことですが、単価の適正化については依然として課題として残っており、今後も適正価格での派遣を目指した交渉に努める必要があります。そのためにも、質的な充実を図り、料金改訂の検討に耐えられるように努めます。

(2)主催事業収入は大幅増加

主催事業については、前年比85万円増となっています。これは過年度よりも教育ファシリテーター講座の期間が伸びて参加費が高くなったにも関わらず、参加者が大幅に増えたことや設立10周年記念事業で多くの方にご参加をいただけたことによります。そのため、構造的な改善が見られたのではなく、一時的な増加と考えることが妥当で、2011年度より事業整理を進めてきている以上、今後は減少傾向が続くと思われます。新規事業が軌道に乗り、財務に貢献するまでの期間、既存事業での利益率向上に向けた改善を重ねていきます。

(3)委託事業収入も意図的に減少

委託事業収入については、前年比約 140 万円減となっています。一昨年度より、膨張傾向にあった 委託事業収入を段階的に減少させており、こうした結果となっています。当会は財務規律目標として、 事業収入に占める委託事業収入の割合を 30%以下であることを目標にしていますが、今年度は 20.8% (前年度 31.6%) となり、大幅に改善が見られました。委託事業収入については、財務規律 目標を意識し、依存率を高めないように留意しつつも、行政との協働の社会的意義に鑑み、一定の継続的な受託にも努めます。

■支出の部

今年度の管理費支出においては、全体として約 180 万円の大幅な縮減が図られ、特に「給料手当(前年比約 90 万円減)」「消耗品費(前年比約 30 万円減)」「旅費交通費(前年比約 30 万円減)」で大きな減少が確認できます。ムダの削減に努めたことにもよりますが、専従職員の減少に伴うところが大きく、この縮減傾向は一時的なものとして考えられるため、気を緩めずに財務管理に努めます。

事業支出としては、全体として約130万円の大幅な増加が見られ、特に「謝金(前年比約35万円増)」「消耗品費(前年比約25万円増)」「施設使用料(前年比約60万円増)」で大きな増額が確認できますが、これらは設立10周年記念事業等の主催事業の拡張に伴うものです。事業支出は当然に事業展開やその戦略に伴って、大きく変動するため、管理費支出での縮減傾向同様、一時的な変化と考えられます。収入額が減じる予測が立つ中、14年度についても支出精査にあたり、経費削減努力を進めます。

■全体を踏まえて

今年度は当期差益で約220万円の利益を生み出し、繰越金は約1060万円に大幅に増加しました。これにより、有事の際に持ちこたえられる財務体力として目標としていた内部留保1000万円に達しました。ただし、今期黒字決算であったとはいえ、これは昨年度から専従職員が減少したためであり、職員数を戻した場合、赤字転落の可能性が否めません。引き続き、支出抑制と新規事業開発に積極的に取り組み、今後の経営安定化に向けて努めます。

なお、内部留保については、事業開発等のために取り崩す際にも 500 万円を最低維持ラインとし、 今後も規律ある財務運営を継続するようにいたします。

おわりに

2013年度、当会が関わったプログラムは 109件(前年比 39件減)となりました。件数として大幅に減少していることは今後の課題ではありますが、今年度も量的には一定規模を維持することができました。非常に多くの方々に支えられていることを覚え、この場をお借りして御礼申しあげます。

当会のミッションに直結している市民教育事業では、昨年度に引き続き、若者の社会参画を推進する取組を幾つかの自治体や学校機関と協働することが実現しました。特に今年度は過年度より準備してきた日本シティズンシップ教育フォーラム(J-CEF)を幅広い方々と共に設立することができました。このプラットホームを育て、また支え、意味ある実践が増えていくための、確かな仕組みとして整えていくことに努めます。

なお、事業の「選択と集中」を図るため、13 年度を最終年度とした「事業見直し」を進めてきたこともあり、今年度は2事業が終了することとなり、また1事業を休止させる決定を行いました。この間、ご支援/ご協力をいただいてきた関係各位のみなさまには、深く感謝しつつ、この蓄積を決して死蔵させることなく、新たな事業やプログラムの開発と実践で活用していくようにいたします。事業の整理が進んだことを受け、来年度は既存プログラムも含め、市民教育事業での新たな動きを創り出していくことに注力して参ります。

「ソーシャル・ブーム」とも評されるほどに、若者を中心に市民の社会参加への関心は高まってきています。この機運を一過性の流行ではなく、連続的な潮流へと結びつけ、また、社会変革への影響力を高めていくためにも、シティズンシップ教育は重要な役割を担うものでしょう。創造的市民社会の成熟と発展に向けて、私たちに課せられているその社会的責任を自覚し、その責任に応答していけるよう、今後もスタッフ一同邁進してまいります。引き続き、関係各位の多大なるご協力とご指導を賜りますよう、お願い申しあげます。

シチズンシップ共育企画 代表 川中 大輔